



平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 11 月 9 日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 憲道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総務部長 (氏名) 佐々木 恒雄 (TEL) 072(949)5381
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 11 月 12 日 配当支払開始予定日 平成 24 年 12 月 7 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期第 2 四半期	14,029	△2.0	901	△28.8	947	△20.1	709	△8.8
24 年 3 月期第 2 四半期	14,311	—	1,265	—	1,186	—	777	—

(注) 包括利益 25 年 3 月期第 2 四半期 424 百万円 (30.7%) 24 年 3 月期第 2 四半期 324 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 3 月期第 2 四半期	44.96	—
24 年 3 月期第 2 四半期	59.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 3 月期第 2 四半期	23,591	8,398	35.3
24 年 3 月期	23,371	8,108	34.4

(参考) 自己資本 25 年 3 月期第 2 四半期 8,328 百万円 24 年 3 月期 8,033 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	—	2.00	—	8.00	10.00
25 年 3 月期	—	6.00	—	—	—
25 年 3 月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	28,900	4.1	2,070	2.7	2,100	4.9	1,370	△0.4	86.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（北京新田膠原腸衣有限公司）、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料4頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	15,770,074株	24年3月期	15,770,074株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	162株	24年3月期	162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	15,769,912株	24年3月期2Q	12,514,819株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における海外経済は、全体として弱い回復で推移しました。米国では緩やかな景気回復が続きましたが、欧州の債務・金融危機や中国・インド景気拡大の減速、東南アジアの景気の足踏み状態が続きました。一方、日本経済は、震災復興需要等堅調な内需を中心とし回復基調となりました。しかしながら、世界経済の減速、長引く円高による輸出の低迷、及び中国、韓国との国家間の摩擦による経済活動への影響が懸念される等、先行きが不透明な状態が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、① お客様第一主義 ② グローバル&イノベーション ③ 選択と集中 を、経営の基本方針として、新製品開発や新市場開拓に積極的に取り組み、お客様にご満足いただける製品・サービス提供のため、厳しい環境の克服に注力してまいりました。

海外市場では旺盛な需要を受け販売が好調に推移しました。一方、日本市場では競合品の影響を受け販売が低迷いたしました。

その結果、売上高は14,029百万円（前年同期比2.0%減）となり、営業利益は901百万円（前年同期比28.8%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益の増加により947百万円（前年同期比20.1%減）となりました。四半期純利益は、税金負担の軽減により709百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本市場ではカプセル用が堅調に推移しましたが、前年同期の震災による一時的な需要が沈静化したため、食用の売上が減少いたしました。また、写真用は売上が大幅に減少いたしました。一方、海外市場では、食用、カプセル用の需要が旺盛であり、また、価格改定効果もあり売上が増加いたしました。

コラーゲンペプチドは、日本市場では他社品との競争による販売価格の低下、他素材との競争、また、アジア市場の開拓遅れにより、売上が減少いたしました。

コラーゲンケーシングは、米国でスナックソーセージ用が堅調に推移すると共に、中国向け輸出が好調に推移し、売上が増加いたしました。

その結果、当該事業の売上高は8,855百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益（営業利益）は929百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、日本の堅調な食品市場に支えられ、コンビニデザート、ハム・ソーセージ用品質改良剤が好調に推移しましたが、他社品との競争により総菜用が低迷し、売上は減少いたしました。

接着剤は、震災復興需要に支えられた建材用ホットメルト形接着剤と、新開発製品である高機能樹脂が好調に推移いたしました。しかしながら、出版業の低迷による製本用の減少、一部製品の事業譲渡により売上が減少いたしました。

その結果、当該事業の売上高は5,173百万円（前年同期比2.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は、接着剤の原材料価格上昇が一段落したことが寄与し648百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比219百万円増加し、23,591百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末比301百万円増加の15,237百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が330百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末比81百万円減少の8,354百万円となりました。主な要因は、設備投資に伴い有形固定資産が62百万円、無形固定資産が24百万円増加した一方で、株安の影響により投資有価証券が171百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末比2百万円減少の9,174百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が218百万円増加した一方で、未払法人税等が180百万円、賞与引当金が62百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末比67百万円減少の6,019百万円となりました。主な要因は、長期借入金が297百万円増加した一方で、社債が200百万円、退職給付引当金が149百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比289百万円増加の8,398百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末から円高が進み、為替換算調整勘定が251百万円減少した一方で、利益剰余金が582百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.3% (前連結会計年度末34.4%) となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,013百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、372百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益939百万円、減価償却費385百万円、たな卸資産の増加額412百万円及び法人税等の支払額401百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、467百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出436百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、52百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,519百万円、長期借入金の返済による支出1,002百万円及び社債の償還による支出330百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想は、平成24年5月11日に公表しました「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

中国でのコラーゲンケーシングの販売拡大を図ることを目的として、平成24年9月に北京の羊腸加工会社である北京秋実農業発展有限公司との間に合弁会社である北京新田膠原腸衣有限公司を設立し、同社を当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,098,305	2,033,882
受取手形及び売掛金	6,449,185	6,371,463
商品及び製品	4,011,191	4,306,406
仕掛品	651,952	701,938
原材料及び貯蔵品	1,308,008	1,293,383
その他	431,247	548,893
貸倒引当金	△14,013	△18,735
流動資産合計	14,935,878	15,237,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,519,511	2,582,366
機械装置及び運搬具（純額）	1,160,053	1,068,439
その他（純額）	1,707,611	1,798,861
有形固定資産合計	5,387,176	5,449,667
無形固定資産		
その他	18,491	42,722
無形固定資産合計	18,491	42,722
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055,225	1,883,836
その他	976,926	979,908
貸倒引当金	△1,814	△1,731
投資その他の資産合計	3,030,338	2,862,013
固定資産合計	8,436,005	8,354,403
資産合計	23,371,884	23,591,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,476,611	3,695,103
短期借入金	925,340	879,802
1年内返済予定の長期借入金	1,878,380	2,075,353
1年内償還予定の社債	330,000	200,000
未払法人税等	387,141	206,665
賞与引当金	235,319	173,067
その他	1,943,430	1,944,039
流動負債合計	9,176,223	9,174,031
固定負債		
社債	200,000	—
長期借入金	3,261,365	3,558,807
退職給付引当金	2,158,327	2,008,743
役員退職慰労引当金	33,772	34,597
その他	434,018	417,453
固定負債合計	6,087,483	6,019,601
負債合計	15,263,707	15,193,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,577,121	1,577,121
資本剰余金	1,398,633	1,398,633
利益剰余金	6,889,910	7,472,829
自己株式	△68	△68
株主資本合計	9,865,597	10,448,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416,438	324,270
繰延ヘッジ損益	6,173	2,611
為替換算調整勘定	△1,350,928	△1,602,677
在外子会社の年金債務調整額	△903,985	△844,633
その他の包括利益累計額合計	△1,832,302	△2,120,427
少数株主持分	74,881	69,914
純資産合計	8,108,176	8,398,003
負債純資産合計	23,371,884	23,591,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	14,311,358	14,029,866
売上原価	10,620,872	10,696,475
売上総利益	3,690,486	3,333,391
販売費及び一般管理費	2,424,872	2,431,993
営業利益	1,265,613	901,397
営業外収益		
受取利息	364	768
受取配当金	9,798	10,573
持分法による投資利益	47,272	124,290
その他	37,340	46,288
営業外収益合計	94,776	181,920
営業外費用		
支払利息	87,844	75,751
為替差損	71,617	44,831
その他	14,607	14,895
営業外費用合計	174,069	135,478
経常利益	1,186,320	947,839
特別利益		
固定資産売却益	190	10,897
特別利益合計	190	10,897
特別損失		
固定資産除却損	2,109	9,028
投資有価証券評価損	4,279	9,871
ゴルフ会員権評価損	4,500	—
特別損失合計	10,889	18,900
税金等調整前四半期純利益	1,175,622	939,836
法人税等	391,539	227,829
少数株主損益調整前四半期純利益	784,082	712,006
少数株主利益	6,475	2,928
四半期純利益	777,606	709,078

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	784,082	712,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,045	△92,153
繰延ヘッジ損益	△24,117	△12,646
為替換算調整勘定	△344,615	△192,932
在外子会社の年金債務調整額	75,086	59,352
持分法適用会社に対する持分相当額	△149,931	△49,466
その他の包括利益合計	△459,623	△287,847
四半期包括利益	324,459	424,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,983	420,953
少数株主に係る四半期包括利益	6,475	3,205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,175,622	939,836
減価償却費	407,286	385,728
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,519	4,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,977	△60,101
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△43,196	△85,526
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	825	825
受取利息及び受取配当金	△10,162	△11,341
支払利息	87,844	75,751
為替差損益 (△は益)	52,219	22,010
持分法による投資損益 (△は益)	△47,272	△124,290
固定資産売却損益 (△は益)	△190	△10,897
固定資産除却損	2,109	9,028
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,279	9,871
ゴルフ会員権評価損	4,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△963,046	△8,417
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△413,840	△412,134
仕入債務の増減額 (△は減少)	232,455	286,381
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,998	△48,611
その他	△87,927	△268,013
小計	388,045	704,999
利息及び配当金の受取額	37,839	144,347
利息の支払額	△84,146	△75,041
法人税等の支払額	△189,045	△401,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,692	372,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△313,644	△436,582
有形固定資産の売却による収入	190	13,315
無形固定資産の取得による支出	△3,735	△29,309
投資有価証券の取得による支出	△2,697	△35,341
保険積立金の積立による支出	△8,401	△4,566
保険積立金の解約による収入	16,442	29,610
貸付けによる支出	△300	△200
貸付金の回収による収入	2,697	2,396
その他	△999	△7,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310,449	△467,881

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△95,664	△431
長期借入れによる収入	1,999,300	1,519,115
長期借入金の返済による支出	△975,911	△1,002,303
社債の償還による支出	△230,000	△330,000
セール・アンド・リースバック取引による収入	92,418	63,570
リース債務の返済による支出	△48,717	△63,374
自己株式の取得による支出	△528,010	—
配当金の支払額	△23,465	△126,159
少数株主への配当金の支払額	△7,880	△8,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	182,069	52,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,620	△21,319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△24,308	△64,422
現金及び現金同等物の期首残高	1,538,156	2,078,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,513,847	2,013,882

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材 事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	8,989,303	5,322,054	14,311,358	—	14,311,358
セグメント間の内部売上 高又は振替高	628,130	—	628,130	(628,130)	—
計	9,617,433	5,322,054	14,939,488	(628,130)	14,311,358
セグメント利益	1,310,622	598,219	1,908,842	(643,228)	1,265,613

(注) 1. セグメント利益の調整額△643,228千円には、セグメント間取引消去3,470千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△646,698千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材 事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	8,855,882	5,173,984	14,029,866	—	14,029,866
セグメント間の内部売上 高又は振替高	610,207	—	610,207	(610,207)	—
計	9,466,089	5,173,984	14,640,073	(610,207)	14,029,866
セグメント利益	929,818	648,559	1,578,378	(676,980)	901,397

(注) 1. セグメント利益の調整額△676,980千円には、セグメント間取引消去1,408千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△678,389千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

合弁会社（子会社）の設立

当社は、平成24年10月17日開催の取締役会において、ベトナムに合弁会社を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

当社は、今後の経済成長が期待されるベトナム及び東南アジア地域への当社商品の拡販を行うため、ベトナムに合弁会社を設立することといたしました。

2. 合弁会社の概要

- | | |
|--------|---|
| ① 商号 | Nitta Gelatin Vietnam JV CO.,LTD. (予定) |
| ② 設立年月 | 平成24年12月 (予定) |
| ③ 資本金 | 625千米ドル相当額 (約50百万円) |
| ④ 出資比率 | 新田ゼラチン株式会社 75%
Shanghai International Trading Co.,Ltd. 25% |
| ⑤ 事業内容 | ゲル化剤の製造販売 |